

## 鹿井 信雄 前会長を偲んで



前会長（現顧問）の鹿井 信雄さんが、2012年8月3日、多臓器不全のため、逝去されました（享年81歳）。

一昨年、不幸にも病に倒れられましたが、復帰に向け順調に回復されているとの報でしたので、ただ驚きと残念でなりません。

私は、縁あって5年前に協会に携わることになり、鹿井さんにお付き合いを頂くことになりました。私のような門外漢に後事を託し、ご当人も気が気ではなかったと思います。

僭越ながら私の鹿井感を申し上げれば、誠に懐が深く、また幅の広い方であったと思います。所属されたソニー株式会社での輝かしい経歴が物語っているように「日本初のトランジスタラジオの開発」に携わり、一方でCDや8ミリビデオなどを主力ビジネスに育て上げられた手腕は、優秀な技術者のみならず、企業人として、また経営者として卓越した方であったといえます。

開発からサービス事業まで誠に幅広くトップを担うなど八面六臂の活躍であったと聞いております。ソニー株式会社では代表取締役副社長を、アイワ株式会社では代表取締役会長を歴任されたことは当然であったといえます。

一方、日本オーディオ協会会長は2002年から08年まで6年間にわたり務められました。この時期の国内オーディオ業界は極めて難しい時代であり、デジタル化、小型化の急速な進展により、生活スタイル

と価値観が一変した時代です。そんな中で現在を予見するが如く、第三世代オーディオを強く認識されていました。しかし、その先見性は、国内企業では具現化されず、忸怩たる思いであったと思います。

常に先を見るという点では、技術者にめずらしく「日本ランチェスター協会」という戦略・マーケティングの本山の役員を務められたことでも明らかです。もう少し早くお付き合いを頂いていたならば、一緒に改革のお手伝いが出来たと思うところです。

思いは尽きません。鹿井さん天国でゆっくりと好きな音楽を楽しんでください。安らかなご冥福をお祈り致します。

（日本オーディオ協会 会長 校條 亮治）

### 鹿井 信雄さんのご経歴

鹿井さんは、東北大学工学部を卒業後、1955年に東京通信工業株式会社（現ソニー）に入社。日本初のトランジスタラジオ「TR-55」の設計に中心メンバーとして携わられました。

1970年、アイワ株式会社に転籍し、73年取締役、77年常務取締役に就任し、同社の再建に尽力されました（1994年代表取締役会長に就任）。

1983年、ソニー株式会社に戻られ、1984年取締役、86年常務、87年専務、90年代表取締役副社長に就任され、ソニーの基幹事業を幅広く担当されました。CD、8ミリビデオなど数多くの主力ビジネスを育て上げられました。

日本電子機械工業会（現JEITA）外国系半導体ユーザー協議会会長としての功績により、93年に内閣総理大臣より「貿易表彰」を受けられています。

1984年に社団法人日本オーディオ協会理事にご就任、1995年副会長、2002年から2008年まで会長を務め、よい音で聴くライフスタイルの普及・啓発に尽力され、協会の維持と発展に貢献されました。